

令和元年度 静岡県立総合病院 空調ダクト清掃業務委託契約書

地方独立行政法人静岡県立病院機構静岡県立総合病院（以下「甲」という。）と
（以下「乙」という。）との間に次の委託契約を締結する。

（契約の目的と基本的義務）

第1条 甲は、乙に対し本契約に定めるところにより業務の完成又は処理を請け負わせ、乙は自己の裁量と責任で業務を完遂する義務を負う。

2 甲は、委託者として乙が本契約を遂行するのに必要な協力を行う。

（契約の目的及び範囲）

第2条 甲は、次の業務（以下「委託業務」という。）の処理を乙に委託し、乙はこれを受託する。

（1）委託業務の内容

指定された空調ダクト清掃、空調機洗浄及び制気口等の清掃とし、詳細は、別紙「静岡県立総合病院空調ダクト清掃業務仕様書」及び付帯文書（以下、「仕様書等」という。）に定める。

（2）対象設備

ア 所在地 静岡市葵区北安東4丁目27番1号 静岡県立総合病院内

イ 対象設備 仕様書等のとおり

（委託契約期間）

第3条 この契約の期間は契約日から令和2年3月31日までとする。

（申出義務）

第4条 乙はこの契約締結後の事情の変化により、この委託業務を遂行することが困難となり、若しくは甲に不利となるような事情が生じたときは、その都度、甲に申し出て必要な指示を受けなければならない。

（委託業務年間実施計画書等の提出）

第5条 乙は仕様書等に定めた期日までに委託業務年間実施計画書、委託業務実施計画書及び実施結果報告書を甲に提出しなければならない。

（検収及び瑕疵担保責任）

第6条 甲は乙から委託業務実施結果報告書が提出されてから10日以内に作業内容について検収を実施し、可否を乙に通知する。

2 乙は前項の検収の結果不合格となった時は、遅滞なく再作業を実施する。

3 第1項の検収に合格した場合も、後日、乙の責任に帰すべき事由による不良箇所が判明した場合は、乙の責任において直ちに再作業するものとする。

（委託料及び支払方法）

第7条 甲は、乙に対して委託業務を処理するための費用（以下「委託料」という。）として金3,462,600円（うち消費税及び地方消費税額262,600円）を支払うものとする。

2 乙は委託業務について甲の行う検収に合格した後に、請求書を提出するものとする。甲は請求書を受理してから30日以内に委託料を支払うものとする。

3 甲は請求書を受理した後であっても第6条に定める瑕疵が発見された場合、甲は委託料の支払いを拒む、又は既に支払った委託料の返還を求めることができる。

4 乙は正当な理由なく第3条に定める期間に業務が終了しない場合は、地方独立行政法人静岡県立病院機構会計規程第25条に定める延滞利息を納付しなければならない。

(再委託及び権利義務の譲渡等)

第8条 乙は、委託業務を第三者に再委託してはならない。ただし、甲の承認を得た場合は業務の一部について再委託できる。

2 前項により再委託が認められた場合も、委託業務はすべて乙の責任において実施する。

3 乙は、第三者に対してこの契約によって生じる権利・義務を譲渡し又は継承させてはならない。但し、甲の承認を得た場合はこの限りではない。

(法令上の責任)

第9条 乙は、乙の従業員に対して雇用主として労働安全衛生法他、その他従業員に対する関係法令上の責任をすべて負い、甲に対して一切の責任及び迷惑等を及ぼしてはならない。

(現場責任者等)

第10条 乙は次の事項について乙の従業員を直接指揮命令する責任者を選任し甲に報告する。甲は、病院及び患者等の安全確保等やむを得ない場合を除いて、乙の従業員に直接指揮命令を行えないものとする。

(1) 委託業務の処理

(2) 委託業務の履行に関する甲との連絡及び調整

(事故報告)

第11条 乙は委託業務の処理中に事故が発生した場合は、速やかに甲に報告するものとする。

(立会及び監督)

第12条 甲は、必要があると認められるときは、委託業務の処理について立会い、その履行状況について監督することができる。

(秘密の保持)

第13条 乙は委託業務を処理する上で知り得た秘密及び病院事務に関する事項を第三者に漏らしてはならない。

(個人情報の保護)

第14条 乙は、この契約による業務を処理するため個人情報を取り扱う場合は、別記「個人情報取扱特記事項」を遵守しなければならない。

(契約の変更)

第15条 甲又は乙は、天災その他その責めに帰さない理由により、本契約を変更しようとするときは、その理由を記載した書面を提出し、相手方の承諾を得るものとする。

(契約の解除)

第16条 甲又は乙は、天災その他その責めに帰さない理由により、この契約を解除しようとするときは、その理由を記載した書面により、その相手方に申し出なければならない。

2 甲は、次のいずれかに該当するときは、この契約を解除することができる。

(1) 乙が、委託契約期間内に契約を履行しないとき若しくは履行の見込みがないと認められるとき(乙の信用が著しく悪化した場合を含む。)

(案)

- (2) 甲がこの契約について乙の不正の事実を発見したとき。
- (3) 乙が故意又は重大な過失により甲に損害を与えたとき。
- (4) この契約締結後の事情変化により、委託業務を処理させる必要がなくなったとき。

3 前項のほか、甲は乙が次の(1)から(7)のいずれかに該当した場合は、契約を解除することができる。

- (1) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。以下「法」という。）第2条第2号に該当する団体（以下「暴力団」という。）
- (2) 個人又は法人の代表者が暴力団員等（法第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）又は暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者をいう。以下同じ。）である者
- (3) 法人の役員等（法人の役員又はその支店若しくは営業所を代表する者で役員以外の者をいう。）が暴力団員等である者
- (4) 自己、自社若しくは第三者の不正な利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって暴力団又は暴力団員等を利用している者
- (5) 暴力団若しくは暴力団員等に対して、資金等提供若しくは便宜供与する等直接的又は積極的に暴力団の維持運営に協力し又は関与している者
- (6) 暴力団又は暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有している者
- (7) 相手方が暴力団又は暴力団員等であることを知りながら、下請契約、資材又は原材料の購入契約その他の契約を締結している者

4 甲又は乙は、正当な理由により3か月の予告期間を持ってこの契約の解除をその相手方に申し出たときは、この契約を解除することができる。

（損害賠償責任）

第17条 乙は、次に掲げる一の原因が生じたときには、その損害を被害者に賠償しなければならない。

- (1) 乙が委託業務の実施に関し、甲又は第三者に損害を与えたとき。
- (2) 前条の定めによりこの契約が解除された場合において、乙が甲に損害を与えたとき。

（委託料の処理）

第18条 第16条の各項によりこの契約が解除された場合の委託料の処理は、甲が認める既履行部分に相当する金額をもって精算する。

（合意管轄）

第19条 この契約に関する訴訟については、静岡地方裁判所を管轄裁判所とすることに合意する。

（定めのない事項の処理）

第20条 この契約に定めのない事項については、法令に定めるところによるほか、必要な事項については甲、乙協議の上決定する。

上記の契約の成立を証するため、この契約書2通を作成し、甲、乙記名押印の上、各自その1通を所持する。

令和 年 月 日

(甲) 静岡市葵区北安東 4 丁目 27 番 1 号
地方独立行政法人静岡県立病院機構
静岡県立総合病院 院長 田中 一成

(乙)

別記

個人情報取扱特記事項

第1 基本的事項

乙は、この契約による業務を処理するため個人情報を取り扱うに当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報の適正な取扱いに努めなければならない。

第2 取得の制限

乙は、この契約による業務を処理するため個人情報を取得するときは、適法かつ適正な方法により取得しなければならない。

第3 安全管理措置

乙は、個人情報の漏えい、滅失又はき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

第4 従業員の監督

乙は、その従業者に個人情報を取り扱わせるに当たっては、当該個人情報の安全管理が図られるよう、当該従業者に対する必要な監督を行わなければならない。

第5 再委託の禁止

乙は、甲の同意がある場合を除き、個人情報の取扱いを第三者に委託してはならない。

第6 複写又は複製の禁止

乙は、甲の同意がある場合を除き、この契約による業務を処理するため甲から提供された個人情報が記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。

第7 資料等の廃棄

乙は、この契約による業務を処理するため甲から提供を受け、又は乙自らが作成し若しくは取得した個人情報が記録された資料等を、この契約終了後直ちに廃棄するものとする。ただし、甲が別に指示したときは、その指示に従うものとする。

第8 目的外利用・提供の禁止

乙は、甲の同意がある場合を除き、本業務以外の目的のために個人情報を自ら利用し、又は提供してはならない。

第9 取扱状況の報告等

甲は、必要があると認めるときは、個人情報の取扱状況を乙に報告させ、又は自らその調査をすることができる。

第10 事故発生時における報告

乙は、この契約に違反する事態が生じ、又は生じるおそれがあることを知ったときは、直ちに甲に報告し、甲の指示に従わなければならない。

静岡県立総合病院空調ダクト清掃業務仕様書

1 概要

この仕様書は、静岡県立総合病院空調ダクト清掃業務委託契約書第2条の規定に基づき、必要な事項を定めるものである。

2 概要・目的

静岡県立総合病院の施設の内、空調ダクト清掃、空調機洗浄及び制気口等の清掃を行い、院内の清浄と空調設備の円滑な運転を目的として行うものである。

3 疑義

仕様書及び図面その他に関する疑義の点は予め契約前に明確にしておくものとし、契約後疑義を生じた場合は甲の指示に従わなければならない。

4 施工の原則

- (1) 本業務は、契約書、設計書及び仕様書に基づいて、監督員の指示に従い誠実に施工しなければならない。
- (2) 業務の実施にあたっては、関係する諸法令を遵守し、乙の負担と責任において行うものとする。
- (3) 作業の結果、機能に支障をきたす事項があると判断した場合はただちに甲に報告し、協議の上、速やかに補修、その他所要の措置を行うものとする。

5 請負人負担

次の各号に掲げる費用は乙の負担とする。

- (1) 軽微な事項で設計書・図面又は仕様書になくとも、施工上欠くことができない材料・機器及び作業の費用
- (2) 軽微な事項で施工上障害となる物の撤去及び工事によって発生した後片付けに要する費用
- (3) 作業の為、第三者に与えた損害で請負人の責に帰すべきものの賠償に要する費用又は既設工作物に与えた損害の復旧費用
- (4) 報告書・写真等に要する費用
- (5) 軽微な事項で、工事中の危険防止に要する費用

6 損害補償

作業は誠意をもって慎重に行うものとし、万一構造物又は機器に損害等を与えた場合は、速やかに甲に連絡して指示を受けると共に、乙の責任において事故復旧するものとする。

7 作業日時

- (1) 原則として夜間（20時30分～5時00分）若しくは土日祝日とする。
- (2) 作業を実施する30日前までに協議して作業日程を決定し、業務実施計画書を提出すること。
- (3) 上記の作業日程については、設備の運転状況により変更することがあるので作業日の前日に再度確認すること。

8 現場管理

作業中は、障害・火災その他事故発生を未然に防止することは勿論、労働基準法及び関係法規を守り、円滑に作業・整備を行わなければならない。万一、事故を起こした場合は乙の責任において処理することとする。

9 作業員

- (1) 乙は作業に当たり十分な技術・経験を有する作業員を派遣し、秩序正しく行わなければならない。
- (2) 派遣した作業員が著しく不適当と認められた場合、乙は契約解除事由に相当すると認識し、

(案)

誠意をもって対応するものとする。

10 後片付け

- (1) 使用工具の置き忘れ、ビス・ナットの脱落・残材の未処理等は、機器の二次的な事故の原因となるので最終確認を十分行うこと。
- (2) 作業箇所の清掃、後片付けを十分行うこと。

11 委託業務年間実施計画書

乙は契約締結から14日以内に別紙1の様式により委託業務年間実施計画書を作成して、甲に提出し承認を得ること。なお、提出部数は2部とする。

12 委託業務実施計画書

乙は業務を実施する30日前までに別紙2の様式により委託業務実施計画書を作成して、甲に提出し承認を得ること。契約締結から30日に満たない期間に業務を実施する場合は、契約締結後速やかに提出すること。なお、提出部数は2部とする。

13 委託業務実施結果報告書

乙は業務終了後30日以内又は令和2年3月31日のいずれか早い日までに、別紙3の様式により委託業務実施結果報告書を作成し、作業内容及び確認された問題箇所等を明瞭にした書類及び作業の概要がわかる写真等を必要に応じて添付して、甲に提出すること。なお、提出部数は2部とする。

14 再作業

委託業務完了後といえども作業に脱落があった場合、又は指摘された場合は、速やかに責任をもって再作業しなければならない。

15 実施内容・注意事項等

詳細については、業務実施要領による。

(1) 実施内容

①冷暖房用空調ダクト（OA. SA. RA等）清掃

ア 乾燥した空調ダクト内の塵芥（乾燥塵芥）は、ダクト内部をブラッシングし、剥離したホコリを高圧エアージェット噴射等及び集塵機等で完全に回収する。

イ 油等がこびりついた塵芥（湿式塵芥）は、ケレンで掻き落とし、これをバキュームの吸引機等で回収の上、残った油分はダクトクリーナー等で拭き取り作業を行う。

ウ 化学物質を使用している箇所のダクトに関しては、乾式及び湿式の両工法を基準に作業を行う。

エ イに使用するダクトクリーナー等については、内部塵芥と化学反応を起こしたり、ダクト本体（亜鉛引鉄板、塩ビ鋼板、ステンレス等）及び使用しているパッキンやシール剤と化学反応を起こしたりしないものを調査の上使用する。

オ フィルターの清掃を行う。（エアークリーナー）

カ ダンパー、吹出口、吸込口等の清掃

i. ダンパー、シャッターは、清掃し、可動部分に注油し、作業点検、FD. FVDフィーズ交換を行う。

ii. 吹出口・吸込口等は、取外し清浄乾燥後、取り付け。作業点検チェックを行う。

キ 空調機・ファンの清掃

i. 空調機のコイルファンを洗浄し、フィンの詰まり、汚れを落とす。発錆、腐蝕の有無を点検し、報告する。

ii. ドレンパンの発錆箇所の研磨及び塗装を行う。

iii. 防振ゴムの劣化の有無を点検し、報告する。

- iv. V字ベルトの張り具合の調整をする。
- v. ファン及び空調機のベアリングに注油する。
- vi. ファン及び空調機の電源機の絶縁抵抗測定を行う。
- vii. 屋内にある空調機（天吊型）についてはパネルを取外し、フィルターの水洗い及びコイルフィン・ファンをエア洗浄する。
 ※空調機内洗浄は、フィン洗浄液又はアルカリイオン水等で洗浄した後、除菌するためにPH2.5～2.6の酸性水等をファン・ケーシング、ドレンパン内壁などに噴射して除菌した後、アルカリイオン水等を噴射し、再度水道水で洗浄、乾燥する。
 ※各部屋の天井点検口に入出入りするためのビニール養生は、他と遮断するため、天井点検口出入り用の養生を施すこと。
- viii. 清掃後は、天井・壁・什器備品等の汚れ、破損の状況等を確認し、原状回復を行う。

②排気系統清掃（FEC-6）

ア フード清掃

フード内の内・外面を清掃し、グリスフィルター、FVD（防火ダンパー）を取外し、洗浄・点検・ヒューズの交換を行う。

イ 排気（EA）ダクト清掃

フード立上り、メインダクト立上り、FD周辺の油脂汚れを、スクレパー等で切削除去し、油脂分を中性クリーナーで拭き取り清掃する。

ウ VD, FD, 吸込口（HS）

シャッターを取外し洗浄、切削清掃するとともに、作動状況の点検を実施し、可動部分に注油を行い、FD, FVDのヒューズは全て交換する。

エ 排気ファン清掃

ファンケーシング、多翼扇を丁寧に切削し、回転バランスの点検確認を行う。

(2) 対象設備・実施時期等

対象設備及び各系統における実施可能曜日・時間帯は下記のとおり。

建物	系統	時間帯
本館	AC-11 玄関ホール	夜間（20:30～5:00） 若しくは土日祝日
	AC-21 血液検査	
	AC-22 人工透析	
	AC-23 2階管理	
	FEC-6 主厨房排気	夜間（20:30～5:00）
北館	AHU-S101 外来	夜間（20:30～5:00） 若しくは土日祝日
	AHU-S102 中央処理	
	AHU-S201 リハビリ	
	AHU-S601 本部他	
循環器病センター	JAC-102・103-1～4 画像処理・CT系統	夜間（20:30～5:00） 若しくは土日祝日
	JAC-202 心カテ1・2	夜間（20:30～5:00） 若しくは当番日を除く土日祝日

(3) 注意事項

- ①病院機能維持のため、苦情等があった場合は、作業を中断するなどの措置をとること。
- ②業務遂行にあたって、院内周知用等の資料作成を行うこと。

16 この仕様書に記載のない事項は、関係法令の定めるところによる外、甲乙協議して決定する。

(案)

別紙 1

院長	事務部長	次長	管理課長	管財係長	係員	担当

委託業務年間実施計画書

1. 委託業務名

2. 業務工程表

項目	作業内容	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
備考													

＊この用紙に記入し難いときは、概略を記入し、詳細は、適宜、別紙としてかまわない。

上記のとおり年間作業計画を提出します。

令和 年 月 日

受託者

印

院長	事務部長	次長	管理課長	管財係長	係員	担当

委託業務実施計画書

1. 委託業務名

2. 作業箇所

提出年月日	令和 年 月 日 (曜)	立入り	日前
作業予定年月日 及び作業人員	令和 年 月 日 (曜) 時 分～ 時 分	名	
	令和 年 月 日 (曜) 時 分～ 時 分	名	
	令和 年 月 日 (曜) 時 分～ 時 分	名	
	令和 年 月 日 (曜) 時 分～ 時 分	名	
	令和 年 月 日 (曜) 時 分～ 時 分	名	
内 容			
影響及び 安全対策			
作業責任者 氏名・連絡先			
本院への 依頼事項			

* 箇所ごとの作業工程等を詳細に記したものを別途添付すること。

上記のとおり作業を行うので申請します。

宛

作業責任者

印

作業責任者の個人印でかまわない。FAXでの送付も可とする。

(案)

別紙 3

院長	事務部長	次長	管理課長	管財係長	係員	担当

委託業務実施結果報告書

1. 委託業務名

2. 実施すべき内容

内 容	
-----	--

3. 実施した内容

実施 年 月 日 人 員 内 容	月 日	令和 年 月 日 (曜)	時 分 ~ 時 分	名
	実施 内容			
	月 日	令和 年 月 日 (曜)	時 分 ~ 時 分	名
	実施 内容			
	月 日	令和 年 月 日 (曜)	時 分 ~ 時 分	名
	実施 内容			
	月 日	令和 年 月 日 (曜)	時 分 ~ 時 分	名
	実施 内容			

* この用紙に記入し難い時は概略を記入し、詳細は適宜別紙としてかまわない。
点検結果等は、別途報告書を添付すること。

上記のとおり委託作業を実施したので、報告します。

令和 年 月 日

受託者

印

契約者の名義で作成し、契約書に押印した印を押印する。

業務実施要領

- 1 当該ダクト等の経路、構造、天井点検・作業口の取付けの適否を十分調査する。
- 2 施工に先立ち、当該ダクト等の既存状態を調査・記録（記録写真等を含む）する。なお、調査・記録する場所は各室及びダクト系統毎とする。
- 3 対象設備は別添図面による。
- 4 作業機器の据付場所は、騒音対策、ほこり等の飛散防止策を考慮した場所とし、病院の承諾を受ける。
- 5 清掃に使用する資機材の搬入時及び清掃時における天井、壁及び床ならびに室内における机什器、備品、OA機器等の汚損等を防止するためフィルムシートによる養生等を行う。
- 6 清掃作業時は周囲に粉塵等が飛散しないような防止策（ビニールカーテン養生など）をとること。
- 7 吹出口は取外し、作業終了後に現状復旧する。尚、再取付前には、中性洗剤にて洗浄を行う。
- 8 当該ダクトの内面に付着したほこり等の除去、清掃、確認作業については、採用した工法の規定による。
- 9 施工にあたっては、既設天井、ダクト、ダンパー等の強度、耐久性、機能性に影響を与えないようにする。
- 10 ダクト内の粉じんの捕集方法は、集じん装置等により適切に捕集する。
- 11 再熱コイル(BH) に付着したほこり等の除去は高圧エアにて清掃を行い、粉じんの捕集方法は、集じん装置等により適切に捕集する。
- 12 清掃に使用する集じん装置等は排気が HEPA フィルタで処理される仕様のものとする。
- 13 作業に伴い、ダクトに開口部等を設ける場合は、必要最小限なものとし、作業終了後の修復は開口部を鉄板等にて閉鎖しコーキング、ビス及びリベッター止めにて密閉確保し、アルミテープ及び断熱材にて上から補修を行う。
- 14 所定の清掃作業終了後にダクト系の機能を調査確認する。また清掃後のダクト内面の状態を記録（記録写真等）する。なお、記録する場所については前記の記録する場所と同一箇所とする。

令和元年度

静岡県立総合病院

設計書

令和元年度 静岡県立総合病院 空調ダクト清掃業務委託

業務場所 静岡市葵区北安東4-27-1 静岡県立総合病院

—				
令和元年度 静岡県立総合病院 空調ダクト清掃業務委託				
内 訳				
名 称	数量	単位	金 額	摘 要
I 本館				
1 AC-11 玄関ホール	1	式		
2 AC-21 血液検査	1	式		
3 AC-22 人工透析	1	式		
4 AC-23 2階管理	1	式		
5 FEC-6 主厨房排気	1	式		
II 北館				
1 AHU-S101 外来	1	式		
2 AHU-S102 中央処理	1	式		
3 AHU-S201 リハビリ	1	式		
4 AHU-S601 本部他	1	式		
III 循環器病センター				
1 JAC-102・103-1～4 画像処理・C T系統	1	式		
2 JAC-202 心カテ1・2	1	式		
小 計				
消費税等相当額				小計×10% 円未満切捨
合 計				

内訳書

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
I 本館					
1 AC-11 玄関ホール					
ダクト清掃	840	m ²			
空調機洗浄	1	台			
制気口清掃	33	個			
機器使用費(集塵機、コンプレッサー)	1	式			
機器搬入設置費	1	式			
小計					
2 AC-21 血液検査					
ダクト清掃	100	m ²			
空調機洗浄	1	台			
制気口清掃	3	個			
機器使用費(集塵機、コンプレッサー)	1	式			
機器搬入設置費	1	式			
小計					
3 AC-22 人工透析					
ダクト清掃	235	m ²			
空調機洗浄	1	台			
制気口清掃	7	個			
機器使用費(集塵機、コンプレッサー)	1	式			
機器搬入設置費	1	式			
小計					
4 AC-23 2階管理					
ダクト清掃	695	m ²			
空調機洗浄	1	台			
制気口清掃	13	個			
機器使用費(集塵機、コンプレッサー)	1	式			
機器搬入設置費	1	式			
小計					
5 FEC-6 主厨房排気					
排気ファン清掃 #7	1	台			
排気ダクト清掃	150	m ²			
フード清掃	1	式			
フード用防火ダンパー清掃	9	個			
グリスフィルター清掃(ケーシング含む)	5	台			
吸込口器具(HS)清掃	22	個			
小計					
計					
II 北館					
1 AHU-S101 外来					
ダクト清掃	450	m ²			
空調機洗浄	1	台			
制気口清掃	0	個			
機器使用費(集塵機、コンプレッサー)	1	式			
機器搬入設置費	1	式			
小計					
2 AHU-S102 中央処理					
ダクト清掃	430	m ²			
空調機洗浄	1	台			
制気口清掃	0	個			
機器使用費(集塵機、コンプレッサー)	1	式			
機器搬入設置費	1	式			
小計					

内訳書

名称	数量	単位	単価	金 額	摘 要
3 AHU-S201 リハビリ					
ダクト清掃	530	m ²			
空調機洗浄	1	台			
制気口清掃	0	個			
機器使用費(集塵機、コンプレッサー)	1	式			
機器搬入設置費	1	式			
小計					
4 AHU-S601 本部他					
ダクト清掃	450	m ²			
空調機洗浄	1	台			
制気口清掃	24	個			
機器使用費(集塵機、コンプレッサー)	1	式			
機器搬入設置費	1	式			
小計					
計					
Ⅲ 循環器病センター					
1 JAC-102・103-1～4 画像処理・CT系統					
ダクト清掃	270	m ²			
空調機洗浄	1	台			
制気口清掃	35	個			
機器使用費(集塵機、コンプレッサー)	1	式			
機器搬入設置費	1	式			
小計					
2 JAC-202 心カテ1・2					
ダクト清掃	450	m ²			
空調機洗浄	1	台			
制気口清掃	35	個			
機器使用費(集塵機、コンプレッサー)	1	式			
機器搬入設置費	1	式			
小計					
計					